

国連防災世界会議への小委員会の参加について

1. 参加団体：災害教訓の継承に関する専門調査会小委員会
(責任者：北原小委員会座長)
2. 参加趣旨：過去の災害から現代社会に有用な災害教訓を引き出すための作業とその成果を公開することにより、今後の社会的防災力の蓄積に資するとともに、この活動への社会的理解を求める。
3. 参加形態：パブリックフォーラム(公開シンポジウム)の開催
展示ブースにおけるパネル展示
4. 概要(案):
パブリックフォーラム
日程：2005年1月18日から22日のうちのいずれかの半日
会場：神戸国際会議場5階(150人収容)、あるいは3階(400人程度収容)
のいずれかの会場
内容：各分科会の問題を発表するか又は討論の形態で参加
展示ブースにおけるパネル展示
展示場：高さ(270cm)*横(300)*入り口(300)の小屋
パネル：9枚分。参加分科会へ各一枚分配分し、各分科会が、写真と解説(日本語+英文)の作成、掲示等を行う。
5. テーマ(タイトル)案：「歴史災害の教訓から」
6. 基本姿勢：分科会を主体として成果を発信することが中心。フォーラムでの発表等は専門調査会委員、小委員会委員個人にお願い。
なお、タイトル、パネル構成などについては、伊藤専門調査会座長、北原小委員会座長、内閣府担当者が協議して決定。